

「銀行へ行こう」開催報告

本部くらしの委員会

平成27年8月11日(火)佐賀県金融広報委員会との共催、佐賀銀行の協力で今年8回目の夏休み親子企画「銀行へ行こう」を開催しました。

小学生と保護者24組、計65名が参加し、〇×クイズやお札の数を体験したり、佐賀銀行内の見学をしてお金や銀行の役割を楽しく学びました。

はじめに、日本銀行佐賀事務所長より、日本銀行とお札の関わり、お金の流通の仕組み、偽造防止技術に関してわかりやすくお話していただきました。偽造防止ではルーペを使ってお札を見たり(マイクロ文字)、使えなくなったお札の裁断屑を使って作られたダルマの貯金箱には、子ども達もとても興味深く見入っていました。



何が見えるかな？



お札の裁断屑で
作った貯金箱ですよ！



〇×クイズでは、「偽札を作ったら罰金を支払わなければならない。〇か？×か？」【正解×】「罰金ではなく、刑務所に入らなければならない」というような問題に、迷いながらもとても楽しんでいました。

次に、佐賀銀行の職員の方に、銀行の仕事についてお話を聞きました。また、模擬紙幣を使ってお札の数を練習しました。縦読みと横読みという2通りの数え方を教えて頂きました。慣れない手つきではありますが、親子で一生懸命に練習されていました。



(〇×クイズ)



(お札の数え方)



(10円玉4万円分の重さ体験)

最後に、銀行内の見学をしました。普段見る事のできない貸金庫や出納室では、子ども達も興味津々で担当職員の方の話を聞いていました。今回から記念写真も撮り、夏休みの良い思い出になったことでしょう。

アンケートより



- お金の重さがわかって良かった。1千万円や500円玉の束を持たたことが嬉しかったです。(小4男の子)
- 今日は銀行のいろいろなことが分かりました。一番おもしろかったのは、クイズとお札の数え方です。クイズはあんまりわからなかったけど、楽しかったです。お札の数え方は、難しかったけど、少し出来て良かったです。もっと銀行の事が知りたいなと思いました。(小4女の子)
- クイズでお金のさまざまなことが分かった。1億円の重さを体験して持った時は、けっこう重かった。(小6男の子)
- 夏休みの機会に銀行のしくみ、どんな仕事をしているかを学んでもらおうと思いました。すごく楽しんでメモをとっていたので、参加して良かったと思っています。銀行の裏側を見て勉強になりました。(40代 保護者)